

作文・小論文の名人 基礎編

はじめに

最近の高校入試では、作文・小論文の出題が増えてきています。また、大学入試の際や社会に出てからも「書く力」がますます重視されています。

そのような中であって、みなさんの中には「文章を書くことは苦手だ」と感じ、作文・小論文に対する勉強を避けている人がいるかもしれません。この教材は、そのような人でも「作文・小論文の書き方がわかった」と感じてもらえるようにと、作られました。

ぜひ、この教材を楽しみながら、最後までやりとげて下さい。なお、この教材の構成は次の通りです。

●本書の内容

〈第一章〉

合格点がとれる「作文・小論文を書くこと」の第一歩は、「正しい文を書く」ことにあります。この章では、そのために守るべき「九つの鉄則」をマスターするための特訓を行います。

〈第二章〉

入試における作文・小論文は、げんこう原稿用紙を使って書きます。そのとき、その書き方をまちがえてしまうと、せっかくのよい文章でも減点されてしまいます。ここでは、正しい原稿用紙の使い方をマスターするための特訓を行います。

〈第三章〉

入試に出題される作文・小論文のテーマは色々ですが、その中には「よく出る」ものもたくさんあります。それらについては、ひょう日頃から自分なりに考えをめぐらし、すぐに書けるようにしておくといでしょう。そうすれば、同様の問題が出題された場合、短時間で合格点がとれる文章を書くことができます。

ここでは、よく出題されるテーマについての基礎知識を学びます。

〈第四章〉

合格点がとれる小論文を短時間で書くひけつは、「小論文の型」をマスターすることです。その型をマスターしておく、迷わずに説得力ある文章を書くことができます。

ここでは、小論文を書くうえで、その代表となる三つの型をマスターするため

の特訓を行います。

〈第五章〉

説得力のある小論文を書くポイントは、「意見」↓「理由」↓「具体例」の順で文をつないでいくことです。

ここでは、それぞれの文の書き方を徹底的にトレーニングします。

〈第六章〉

過去に出題された入試問題を分析すると、三つの出題パターンがあることがわかります。ここでは、それぞれのパターンの問題にふれ、その攻略の仕方を学びます。

〈第七章〉

第六章で学んだ書き方をふまえ、さらに上のレベルのマスターをめざします。

●本書の使い方

作文・小論文上達の第一歩は、「まず自分の手で書き、まず目を埋める」ことです。それぞれのテーマに対して自分なりの考えをもっていなかったとしても、「ともかくまず目を埋める」ことに徹して下さい。

その場合、紙面の下にある「ポイント」や「ヒント」を大いに利用しましょう。それらを書き写すだけでも、知らず知らずのうちに「書く力がついてくる」ことでしょう。

作文・小論文の名人「基礎編」

もくじ

第一章 正しい文の書き方

■ 減点されない正しい文を書こう 4

練習問題 8

第二章 原稿用紙の使い方

■ 正しい原稿用紙の使い方をマスターしよう 10

練習問題 12

第三章 入試によく出る重要テーマ

■ よく出題されるテーマをマスターしよう 14

練習問題 20

第四章 「小論文の型」をマスター

1 AB型のトレーニング 22

2 ABK型のトレーニング 24

3 ABCK型のトレーニング 26

練習問題 28

テーマの内容別分類リスト

a. 環境保全

森林の果たす役割 14

リデュースの大切さ 14

地球温暖化 15

中庭へのごみ箱の設置 27

家庭のごみを減らすためにできること 28

ごみの減量化対策 28

水質汚染を食い止めるためにできること 36

プラスチックごみの放置 31

恵方巻の売れ残り大量処分への対策 33

コンビニエンスストアの二十四時間営業 35

..... 46

b. 国際化と日本の姿

国際化・グローバル化 19

英会話の必要性 23

日本の魅力 30

海外の中学生に紹介したい日本のこと 34

..... 40

海外留学のすすめ 61

c. 情報社会

インターネットから得られる情報と、新

聞・テレビから得られる情報の、どちら

をより重視すべきか 26

情報収集をするうえで大切なこと・イン

ターネットを利用する際の注意点 32

正確な情報を得る手段 35

ロボットを活用するうえで大切なこと

..... 44

d. 社会参加・ボランティア

バリアフリー 15

ボランティア 15

席をゆずるときの配慮 50

十八歳で選挙に行く前に今すべきこと

..... 59

e. 日常生活におけるマナー

スマートフォンを利用するときの注意点

..... 14

あいさつの大切さ 16

公共の場におけるマナー 17



第五章 小論文の書き方をマスター

1	AB型合格小論文のこつは「イ・ロ・ク・チ」	30
2	意見文の書き方	30
3	理由付けの文の書き方	34
4	具体例の文の書き方	36
5	チェックの仕方	38
練習問題		40

第六章 出題パターン別 実戦トレーニング

1	テーマ型作文	42
2	要約型作文	46
3	資料型作文	50
練習問題		56

第七章 ABK型、ABCK型作文をマスター

1	ABK型作文の書き方	58
2	ABCK型作文の書き方	60
練習問題		62

身だしなみを整えるのは大切か	26・44
食事をするときに気をつけたいこと	31

f. よりよい生き方・読書

読書の効用・大切さ	16・21・30・34・41・52
物事を成しとげるために大切なこと	24
真の友情とは・友情を育むために大切なこと	31・42
失敗は成功のもと	36
くり返し練習の大切さ	37
上手な買い物の仕方	40

g. 学校生活・勉強

授業の予習の必要性	23
テストの意義	40
学校の授業を受けるときに大切なこと	43
今後の学校生活で大切にしたいこと	54

h. 言葉・コミュニケーション

方言と共通語	17
外来語の多用	18

敬語・正しい言葉づかい	18
-------------	----

言葉にはどのような力があるか	29
人の話を聞くときに大切なこと	31・40
相手に意思を伝えるときに重視すること	33

お詫びをするときに心がけていること	35
-------------------	----

話し合いのときに大切なこと	37
---------------	----

文章を書くうえで大切なこと	48
---------------	----

友達から言われた言葉	49
------------	----

標語に見られる表現の工夫	56
--------------	----

友達との話し合い	57
----------	----

人に注意するとき心がけること	58
----------------	----

文字を手書きする習慣の大切さ	62
----------------	----

i. 二者択一

犬とネコのどちらが好きか	22
家族旅行の行き先	28
学校には制服があるほうがよいかうそをつくのは悪いことなのか	29
レジ袋の配布	41
音楽室のマークの候補	47
どちらのポスターを採用するか	63

小論文を上手に仕上げるには、これから紹介する文の型を覚え、そのどれかに従って書くのもよい。その文の型は大きく分けて次の三つで、このテキストではそれぞれ **AB型**、**ABK型**、**ABCK型** と呼ぶ。二百字程度の小論文では、(1)の **AB型** を使って書くことが多い。

- (1) **A B型**………**〔A意見文〕**→**〔B理由付け・具体例〕**という順で書く形。
- (2) **A B K型**………**〔A意見文〕**→**〔B理由付け・具体例〕**→**〔K結論〕**という順で書く形。
- (3) **A B C K型**………**〔A意見文〕**→**〔B理由付け・具体例〕**→**〔C反対意見への対応〕**→**〔K結論〕**という順で書く形。

※「具体例」は自分自身の体験だけでなく、周りの人からの「見聞」（見たり聞いたりしたこと）も含む。

1 AB型のトレーニング

左にある例は、**A B型**を使って書く小論文の例文を並べたものである。この例文を左のます目に順番に書き写し、文の型を覚えよう。なお、書き方は原稿用紙の使い方（P10）に従うこと。

テーマ

犬とネコのどちらが好きか

[illegible]

《例》

①意見文……私は、犬よりネコのほうが好きである。

③《理由付け》…なぜなら、犬よりネコのほうが世話がかからないからである。

《具体例》…私の家ではネコを飼っているが、ネコの場合は、水とエサを^{あた}与えておくだけなので、手間
いらずである。

ミートレーニング

AB型の文章となるように、ア↪ウを並べ替え、その記号を□に書きなさい。

ア なぜなら、インターネットが普及したことで、知りたいことがすぐに調べられるからだ。

イ 私は電車を利用するときにはいつも、インター
ネットで電車の乗り継ぎを調べる。もしインター
ネットがなかったら、時刻表を入手する必要が
あり、それはとても面倒である。

ウ 私は、インターネットの普及は、私たちの暮らしによい影響を与えていると考える。

AB型の文章の流れは、次のようになる。

・私は、
く考える。
〔A意見文〕

なぜなら、
だからだ。
〔B理由付け〕

・ 具体例を示す文。〔B 具体例〕



問題 1

あとのア～ウの文を並べ替えて、テーマに沿ったAB型の文章を書きなさい。

テーマ

英会話の必要性

ア
なぜなら、英語を自由に話せば、世界中の人々と交流できるからだ。

私は、英会話の必要性を強く感じる。

例えば、私の兄は英語を自在に扱あつかえる。そのおかげで、彼は世界中にたくさんさんの友人をもっている。

問題2

あとのア→エの文を並べ替えて、テーマに沿ったA B型の文章を書きなさい。なお、〈**具体例**〉の部分は段落[※]を分けて書きなさい。

テーマ

授業の予習の必要性

※段落を分ける場合は、行を変え、一字下げしてから書き始める。

A full-page sheet of white graph paper. The grid consists of small, uniform squares formed by thin, light gray dashed lines. The grid covers the entire area of the page, leaving a narrow margin at the top and bottom. There are no other markings, text, or illustrations on the page.

英単語の意味などを調べておいたので、先生からの質問にも、すらすらと答えることができた。

イ 私は、授業の予習はしたほうがよいと考える。

私は、先週、しっかりと予習をしてから英語の授業に臨んだ。

工
な
ぜ
な
ら、
予
習
を
し
て
お
く
と、
落
ち
着
い
て
授
業
を
受
け
る
こ
と
が
で
き、
授
業
の
内
容
が
よ
く
理
解
で
き
る
か
ら
だ。



あなたが社会に出て、外国人も加わった場でスピーチをします。

3 資料型作文

入試の小論文では、与えられたいくつかの資料を分析し、それについてあなたの考えを書くというパターンもよく出題される。このテキストでは、そのパターンを「資料型作文」と呼び、その分析の仕方や作文の書き方を学ぶ。



鉄則 資料の中で、特徴的な点を探し、そこに焦点を当てる。

テーマ

席をゆずるとき配慮

問題1

次の資料Aは、ある中学生の書いた作文である。もしあなたがこの作文の「私」の立場だったとしたら、どのような席のゆすり方をするか。資料B・Cをふまえ、次の〈条件〉に従ってあなたの考えを書きなさい。なお、下のHさんの考えを参考にしてもよい。

〈条件〉① 二段落構成とすること。

② 第一段落には、資料A・Cからわかる七十代の人の意識について書くこと。

③ 第二段落には、第一段落に書いたことをふまえて、あなたがどのように行動するかを具体的に書くこと。

④ 百六十文字以上、二百字以内で書くこと。

〈数値の書き方〉

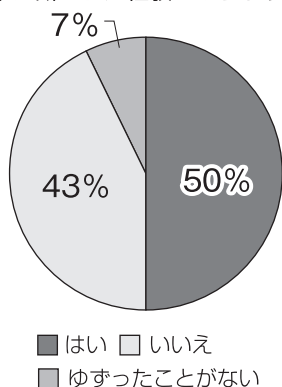
注例 三十八%

【資料A】

先日私は電車に乗っていて、七十代くらいの男性に「どうぞおかけ下さい。」と声をかけたところ、その男性は、「いえ、私は結構です。」と答えた。そのとき私はとても気まずい思いをした。私はこのようなとき、どのようにすればよかったのだろうか。

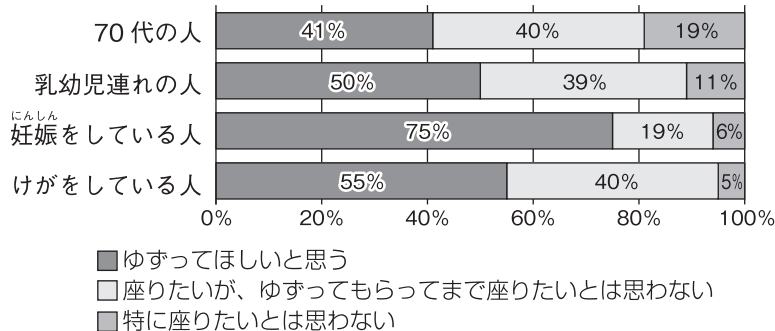
【資料B】

あなたは座席をゆずろうとして相手に断られた経験がありますか。



【資料C】

座りたい意識（優先席対象者の回答）



〈Hさんの頭にうかんだこと〉

資料Cを見ると、七十代の人で、「特に座りたいとは思わない」人と「ゆずってもらってまで座りたいとは思わない」人を合わせると、約六割いることがわかる。つまり、「座れなくてもかまわない」と考えている人が約六割いるということね。このことから、七十代くらいの人に席をゆずるための声かけをして、断られることがあり、お互い気まずくなりそう。ただ、私としては、年配の人に席をゆずるのはマナーだと思っているので席をゆずりたいわ。そこで、このような場合、私は次の駅で降りるかのようにして無言で席を立ち、別の車両に移動しようと思う。そうすれば前に立っている人も気兼ねすることなく、空いた席に座れるのではないかな。

